

# 2025年3月期 第1四半期 決算概要

2024年8月8日



パンチ工業株式会社

(証券コード:6165 東証スタンダード)

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

## ■ 2025年3月期 1Q決算概要

## 2025年3月期 1Q決算ハイライト

経営合理化の効果と中国の景況感回復傾向もあり、増収増益

売上	連結	連結売上高は、前年同期比102.3%、2億円増の96億円
	日本	前年同期比88.8%の29億円 医療関連は好調に推移したが、電子部品関連の下落幅が大きく影響
	中国	前年同期比113.4%の54億円 自動車関連の復調もあり増収
	東南アジア	前年同期比93.8%の4億円 インドネシアは引き続き堅調だが、シンガポール、ベトナムが不調
	欧米他	前年同期比97.4%の8億円 展示会出展は継続しつつ、既存未受注及び新規への訪問対応中
利益		営業利益は、前年同期比308.5%の303百万円 経常利益は、前年同期比105.7%の358百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比120.5%の143百万円
ネット資金		配当及び賞与支給等により、期首から483百万円減少



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

1

### ■ 2025年3月期1Q決算ハイライト

- 売上面では中国の景況感回復傾向による影響  
利益面では経営合理化の効果がでており、増収増益

## 損益計算書サマリー(1Q比較)

(単位:百万円)

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高		9,442		9,660	217	102.3%
営業利益	1.0%	98	3.1%	303	205	308.5%
経常利益	3.6%	338	3.7%	358	19	105.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.3%	119	1.5%	143	24	120.5%

【為替レート(実績)】 1人民元=20.54円/1USドル= 147.87円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

2

### ■ 決算数値の概要

■ 売上高は96億60百万円で前年同期比102.3%、2億17百万円の増収

■ 営業利益は3億3百万円、為替差益の計上等により経常利益は3億58百万円  
親会社株主に帰属する四半期純利益は1億43百万円

■ 為替レート(実績): 1人民元=20.54円/1USドル=140.54円

## 売上高と利益(1Q比較)

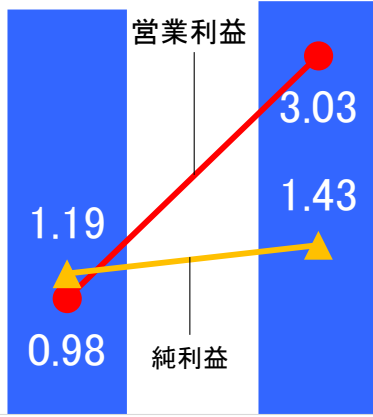
(単位: 億円)

売上高

94 (6.37)

(うちFA売上高)

96 (7.26)



### 【前年同期比較】

売上高 2 億 17 百万円 増収

営業利益 2 億 5 百万円 増益

純利益 24 百万円 増益

※親会社株主に帰属する四半期純利益

2024年3期

2025年3期



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

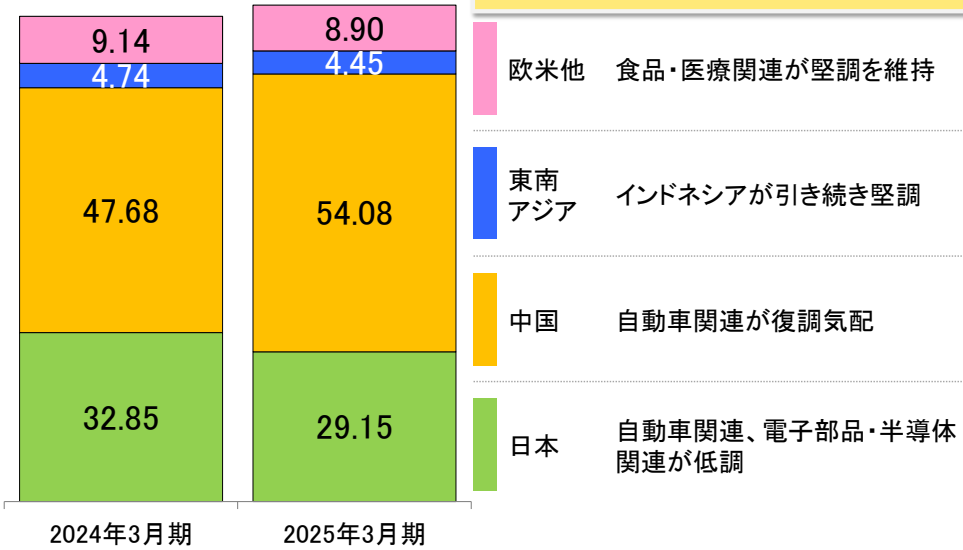
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

3

- 2024年3月期と2025年3月期の売上高・利益比較(1Q)
- FA売上含め前年同期の数値と比較して、増収増益
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 地域別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

4

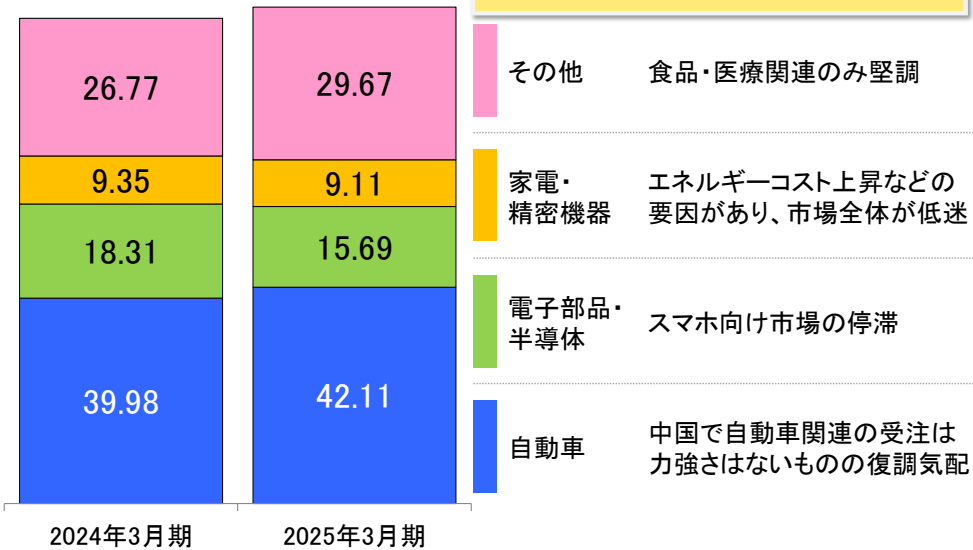
### ■ 2024年3月期と2025年3月期の地域別売上高比較(1Q)

### ■ 中国以外は前年同期を下回る実績

➤ 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 業種別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

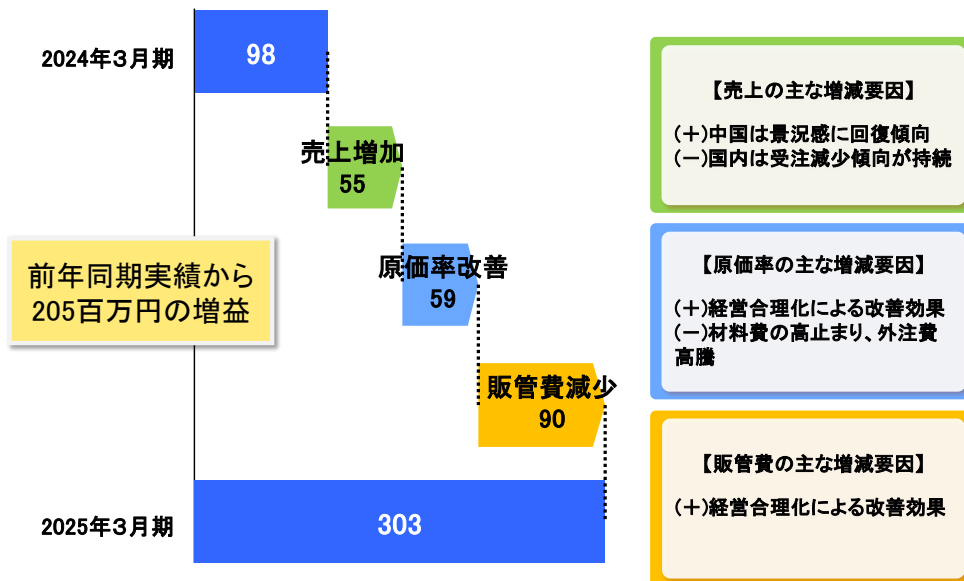
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

5

- 2024年3月期と2025年3月期の業種別売上高比較(1Q)
- 自動車関連は、中国において力強さはないものの復調気配
- 電子部品・半導体関連は日中ともにスマホ向け市場停滞
- 家電・精密機器関連はエネルギーコスト上昇などの要因があり、市場全体が低迷
- その他は食品・医療関連が引き続き堅調
- 四半期ベースの推移は、資料末尾の「参考資料」へ掲載

## 営業利益増減(1Q比較)

(単位:百万円)



### ■ 2024年3月期と2025年3月期の営業利益の増減分析(1Q)

- 前期の営業利益実績98百万円に対して、売上増による55百万円の増益効果

経営合理化による原価改善の増益要因、材料費の高止まりや外注費高騰等の減益要因もあり、59百万円の増益効果

販管費は経営合理化による販管費減少等の増益要因もあり、90百万円の増益効果

- 結果、2025年3月期1Qの営業利益は、前年同期から2億5百万円の増益となり、3億3百万円を計上

## 貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2024年3月期末	2025年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	29,649	29,709	59
総負債	10,899	10,355	▲ 544
うち有利子負債	3,563	3,217	▲ 346
純資産	18,750	19,354	603
ネット資金	2,477	1,993	▲ 483
自己資本比率	63.1%	65.0%	1.9pt

	2024年3月期 第1四半期	2025年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	267	210	▲ 57
減価償却費(無形固定資産含む)	283	293	10

- 貸借対照表サマリー
- 総資産は、有形固定資産の増加等により、59百万円の増加
- 総負債は、長期借入金の減少等により、5億44百万円の減少
- 純資産は、為替換算調整勘定の増加等により、6億3百万円の増加
- 上記の結果、自己資本比率は前期末から1.9ポイント上昇し、65.0%
- 設備投資額は、前年同期から64百万円減少の2億3百万円



## 2025年3月期 通期連結業績及び配当の予想(修正なし)

(単位:百万円)

	2024年3月期 (実績)		2025年3月期 連結累計期間		
			業績予想	前期差	前期比
売上高		38,344	38,500	155	100.4%
営業利益	3.2%	1,240	5.6% 2,150	909	173.3%
経常利益	3.7%	1,421	5.5% 2,100	678	147.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益(▲は純損失)	-	▲ 577	3.1% 1,200	1,777	-
自己資本利益率 (ROE)		-	6.3%	-	-
投下資本利益率 (ROIC)		3.9%	6.7%	2.8pt	-

2025年3月期  
配当予想

19.61円(予定) = 中間 9円80銭 + 期末 9円81円

【想定為替レート】 1人民元=19円50銭/1USドル=142円00銭

【設備投資計画】 設備投資額:15億円 減価償却費:11億円



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

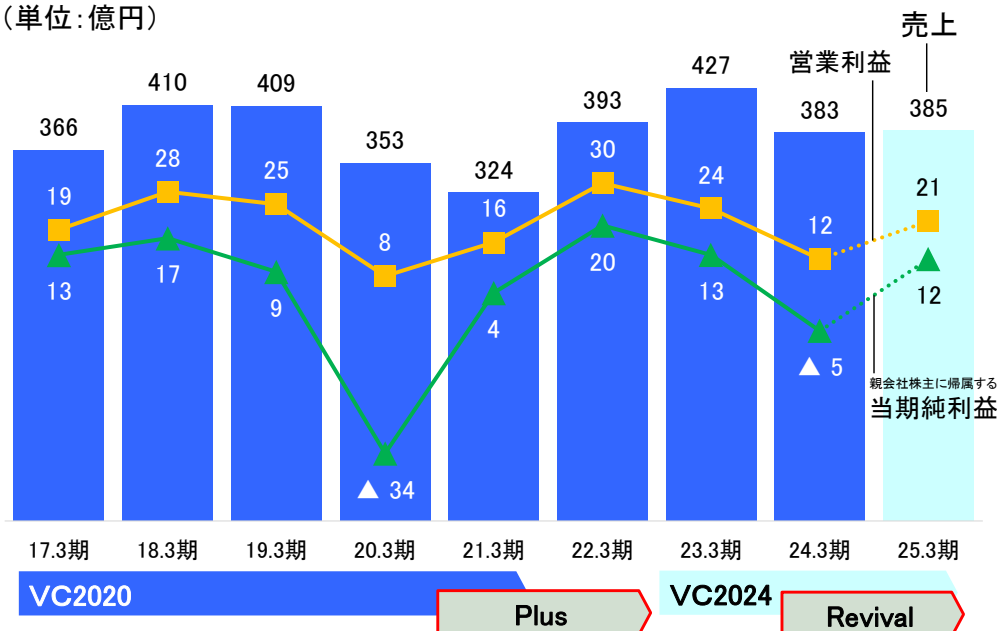
All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

8

- 「VC2024 Revival」最終年度である2025年3月期の通期連結業績及び配当の予想は修正なし
- 想定為替レートも、1人民元=19円50銭、1USドル=142円から修正なし
- 設備投資計画は約15億円、減価償却費は11億円を見込み据え置き

## 中期経営計画「バリュークリエーション2024 Revival」経営数値目標

(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

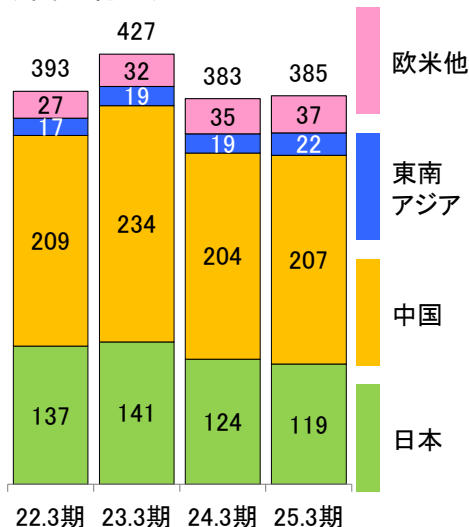
9

- 直近の中期経営計画期間中の売上・営業利益・当期純利益をグラフ化
- 2025年3月期の世界経済は、設備投資需要に回復の動きがみられるものの、世界的な資源・エネルギーコストの高止まりなどを背景に、総じて予断を許さない状況が続いている  
また、日本経済においても、世界的な物価高に円安の影響も加わり、景気の改善が停滞している状況と認識
- このような環境のなかで当社グループは、2023年7月に公表した中期経営計画「バリュークリエーション(以下、VC)2024 Revival」に取組み中
- VC2024 Revivalでは、付加価値の高い特注品ビジネスにより特化するとともに、FA領域の“特注品”の販売拡大によって、持続的な利益成長を目指すことが方針
- 最重点施策に「国内事業の再整備」並びに「海外事業での成長」を掲げ、国内事業においては2023年9月に希望退職者の募集・連結子会社の解散を含めた経営合理化を行い、事業体制の再整備を行う一方、海外事業においては中国での総合機械部品企業への進化への取組み、インド市場への再注力、販売拠点及び販売代理店の新設検討など、成長戦略を継続

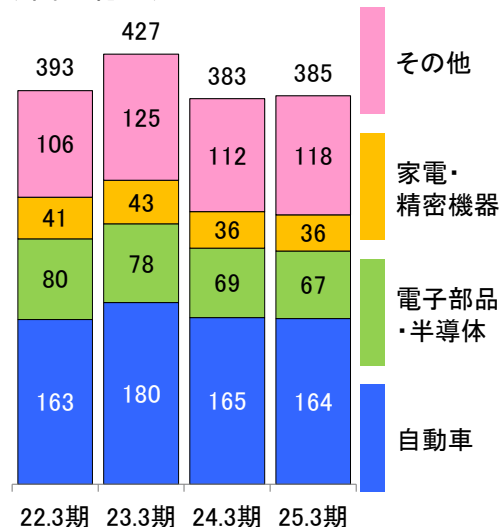
## 地域別・業種別売上の数値目標

受注環境は好転しつつあるが、前期からの増収幅は微増と予想

(単位: 億円)



(単位: 億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

10

### ■ 「VC2024 Revival」の地域別・業種別売上の内訳

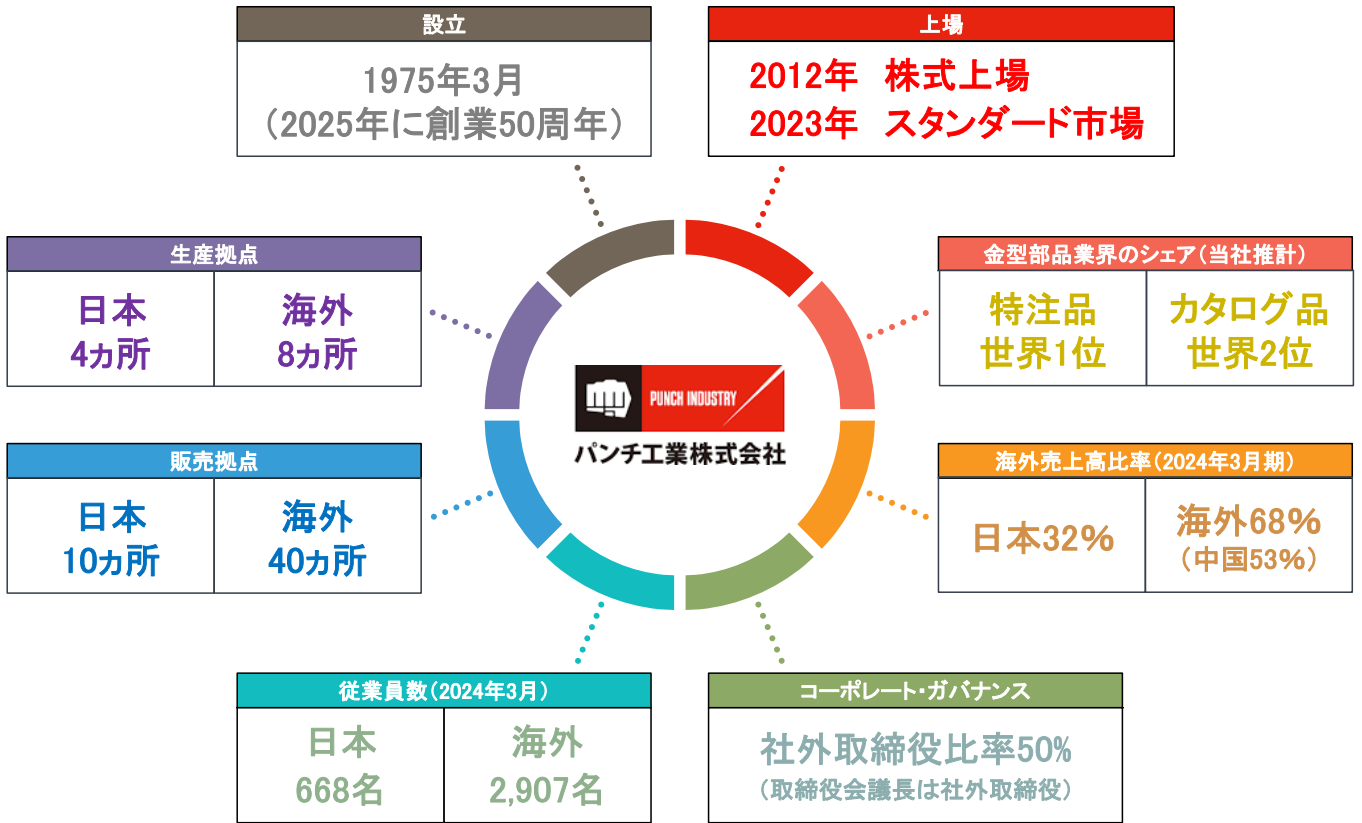
- 今期2025年3月期の足下は日本事業の受注環境に大きな変化はないものの、中国事業において自動車関連を中心に受注状況が好転しているが、引き続き、仕入品の価格上昇やエネルギーコストの高止まり等が継続していることから、業績回復の兆しは見えにくい状況であり、売上は前期から微増の予想

## 参考資料

 PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

- 各資料につきましては、当社Webサイトよりご覧ください。
  
- 中期経営計画
  - [http://www.punch.co.jp/ir/med\\_management.html](http://www.punch.co.jp/ir/med_management.html)
  
- 決算短信
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/tanshin.html>
  
- 決算説明資料
  - <http://www.punch.co.jp/ir/library/setsumei.html>
  
- IRニュース一覧
  - <http://www.punch.co.jp/ir/2024/>

# ひと目でわかるパンチグループ



## マネジメント体制

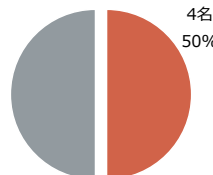
### 代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

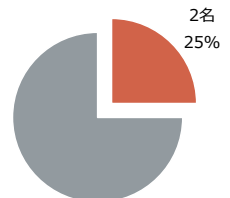
### 取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO)	高梨 晃
	社外取締役	高辻 成彦
	社外取締役 <b>取締役会議長</b>	大里 真理子
取締役(監査等委員)	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄
	社外取締役(監査等委員)	田畑 千絵

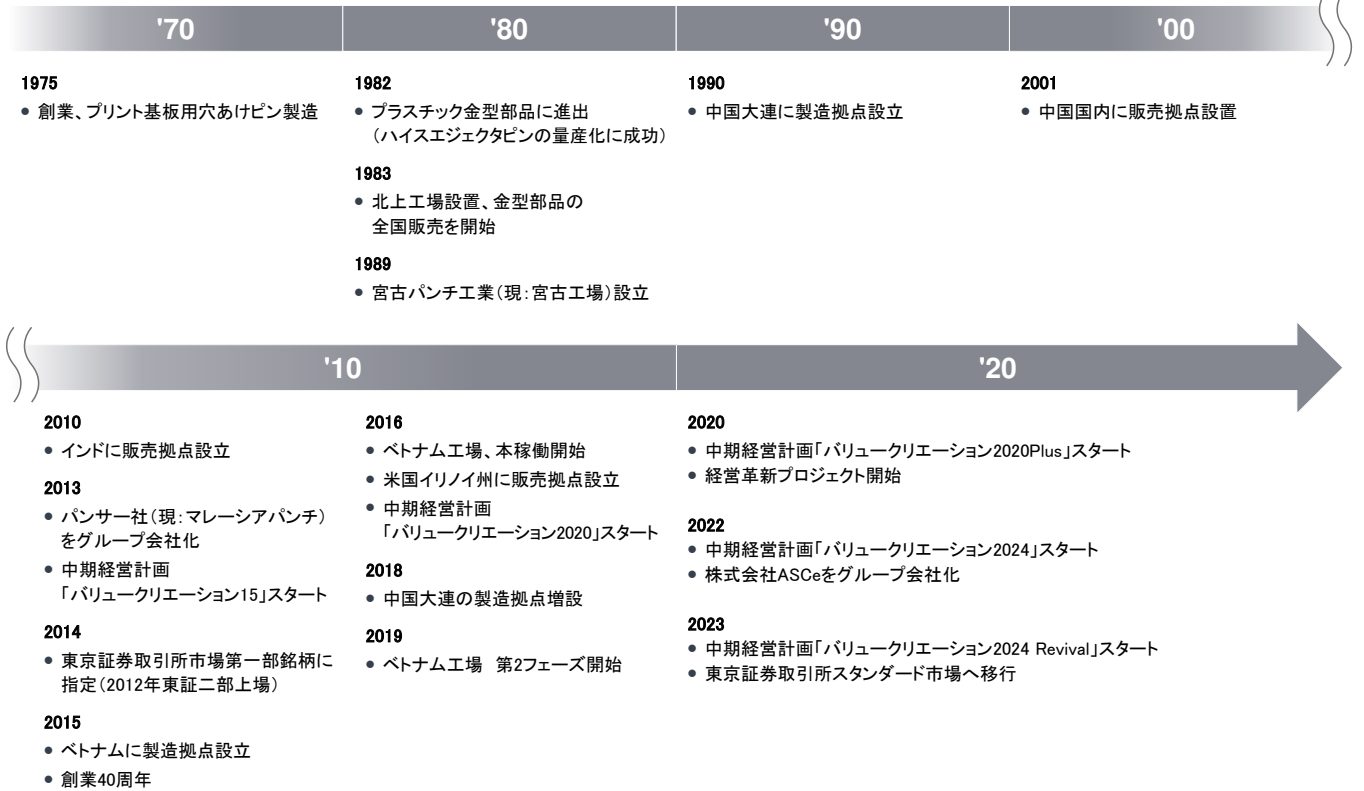
社外取締役比率



女性取締役比率

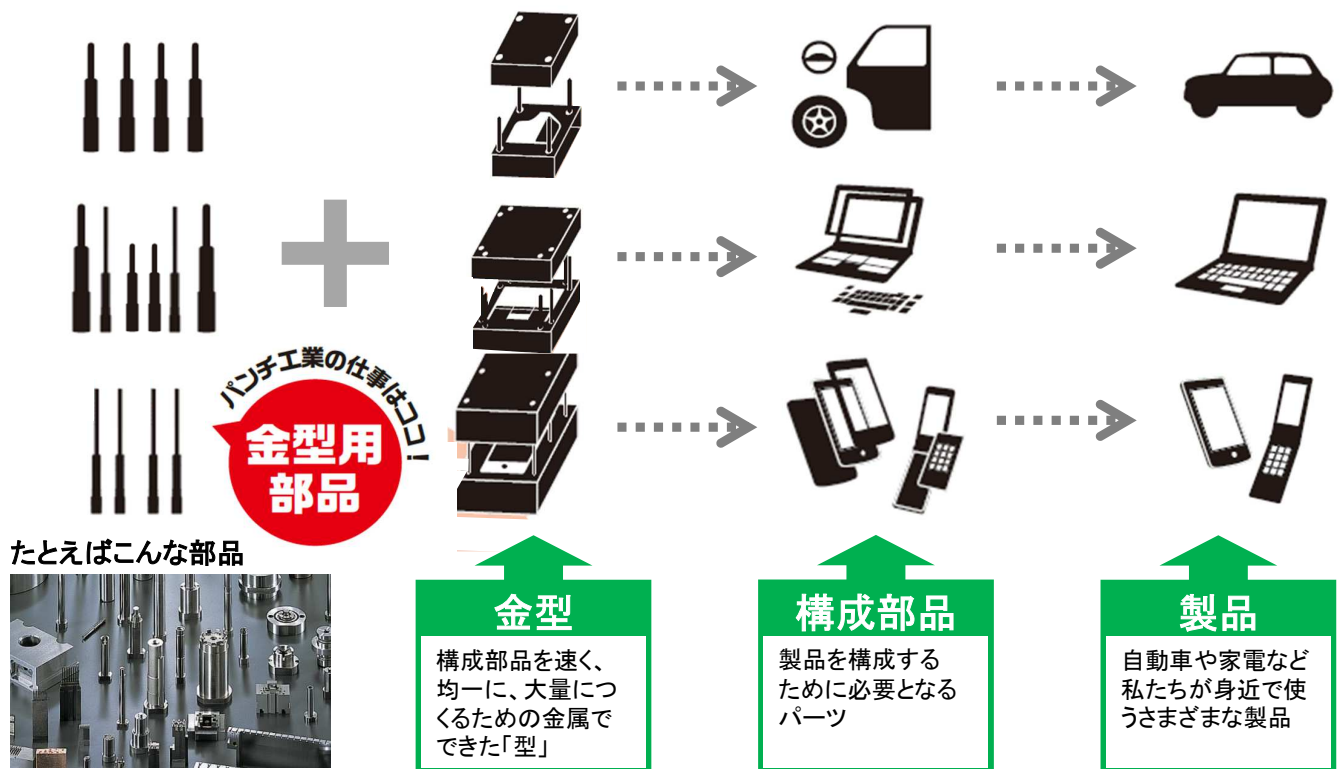


# パンチグループ沿革



## 事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売  
 皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



# パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品  
ものづくりの上流から下流までお取引

## プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶解したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品(押し出しピン)です。



### 主要な製品

#### コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

## プレス金型部品

プレス機(上下運動する機械)に金型を装着し、上下に分かれた金型の中に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができ上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



### 主要な製品

#### パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



### 主要な製品

#### ホルダーガイドポスト関連

上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



# パンチグループの特徴

日本・中国  
特注金型部品シェア1位 ※当社推計



### カタログ品

汎用性の高い標準製品を豊富にラインナップ

スピーディなソリューション

### 特注品

カスタムニーズにも柔軟に対応



一気通貫の生産体制  
2,000台以上の設備で幅広い対応力

お客様密着型の営業体制  
きめ細かな対応・提案力

高い技術力  
創業以来培ったノウハウとたゆまぬ研究開発



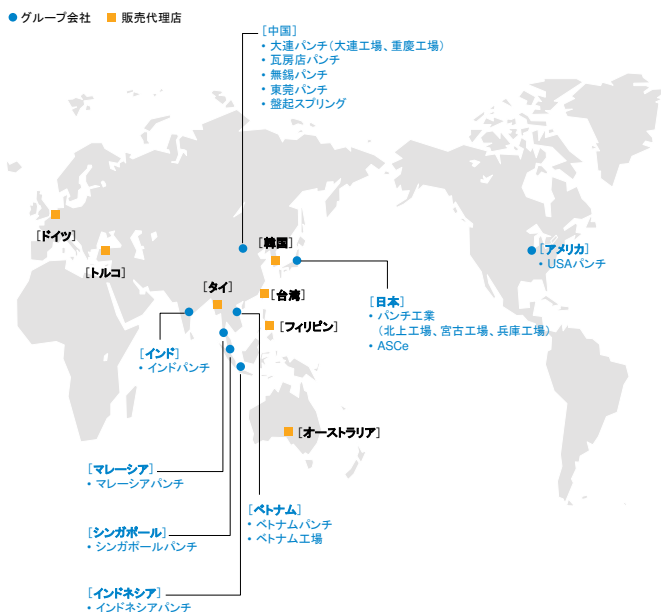
# パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品  
世界の「ものづくり」を支える

## パンチグループの強み

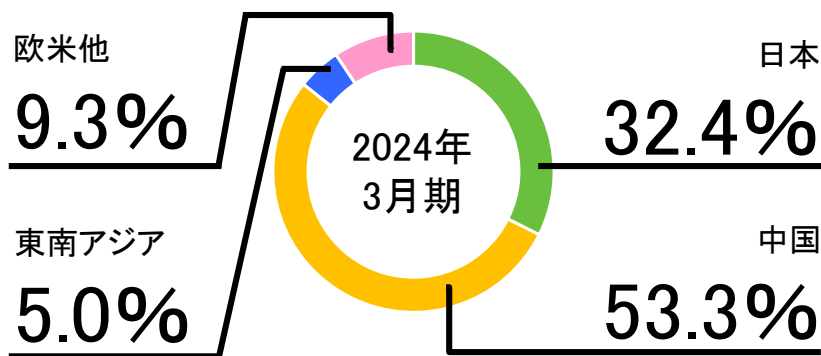


## パンチグループのネットワーク

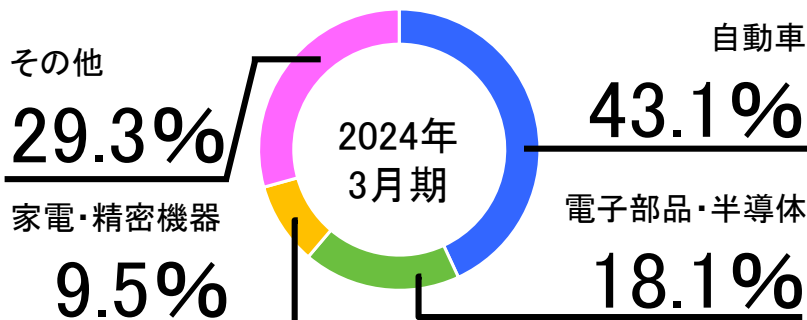


## 地域別・業種別売上高構成比

### 地域別売上高構成比



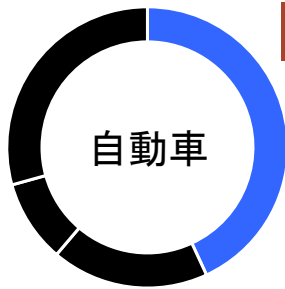
### 業種別売上高構成比





# 業種別の主要顧客

日本での主な競合先: 大手総合機械商社、地場金型加工メーカーなど  
 中国での主な競合先: 中華系機械商社、中華系機械メーカーなど



## 主要顧客

自動車メーカー及び  
Tier1,2  
金型メーカー



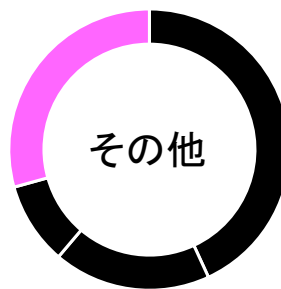
## 主要顧客

電子部品メーカー  
半導体装置メーカー  
金型メーカー



## 主要顧客

家電メーカー  
金型メーカー



## 主要顧客

文具メーカー  
玩具メーカー  
医療メーカー  
飲料容器メーカー  
グローバル商社  
金型メーカー



# エンドユーザーのイメージ (例:自動車関連)

大多数のエンドユーザーは金型メーカー

自動車メーカー



ボディ・外装・シート・  
コネクター・等々のメーカー



金型メーカー



パンチグループ



# 主な展示会出展・セミナー登壇情報(2024年)

期間	開催地	展示会
1/20	日本 東京	IR・株式投資セミナー
1/26	日本 福岡	北九州未来創造セミナー
2/1	日本 オンライン	次世代金型技術 Webinar Week 2024
2/14 ~ 2/17	インド ムンバイ	Die & Mould India International Exhibition
4/17 ~ 4/19	日本 東京	Medtec Japan
6/7 ~ 6/9	日本 大阪	日本臨床細胞学会総会(春期大会)
6/19 ~ 6/21	日本 東京	ものづくりワールド2024



Die & Mould India International Exhibition



Medtec Japan

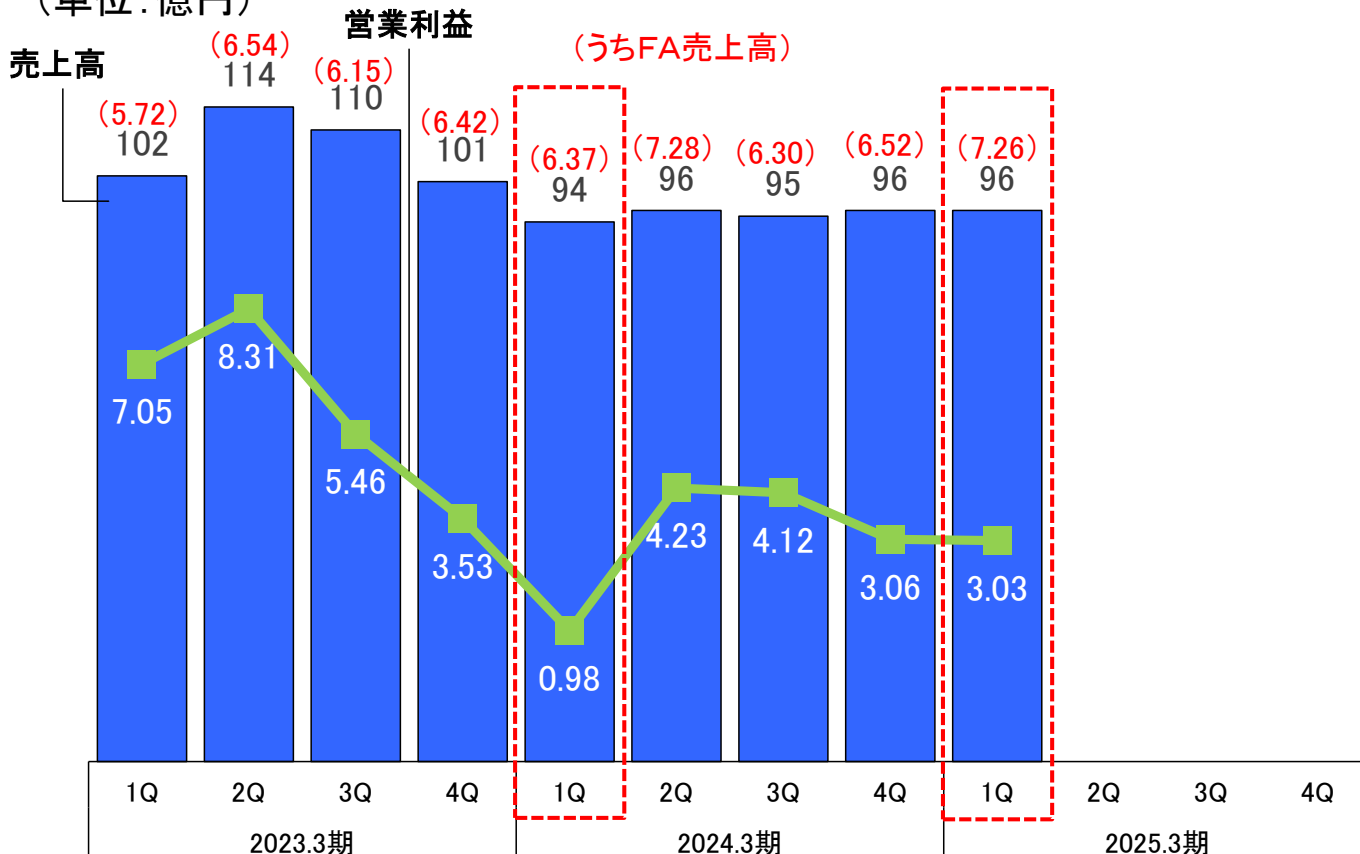


ものづくりワールド2024



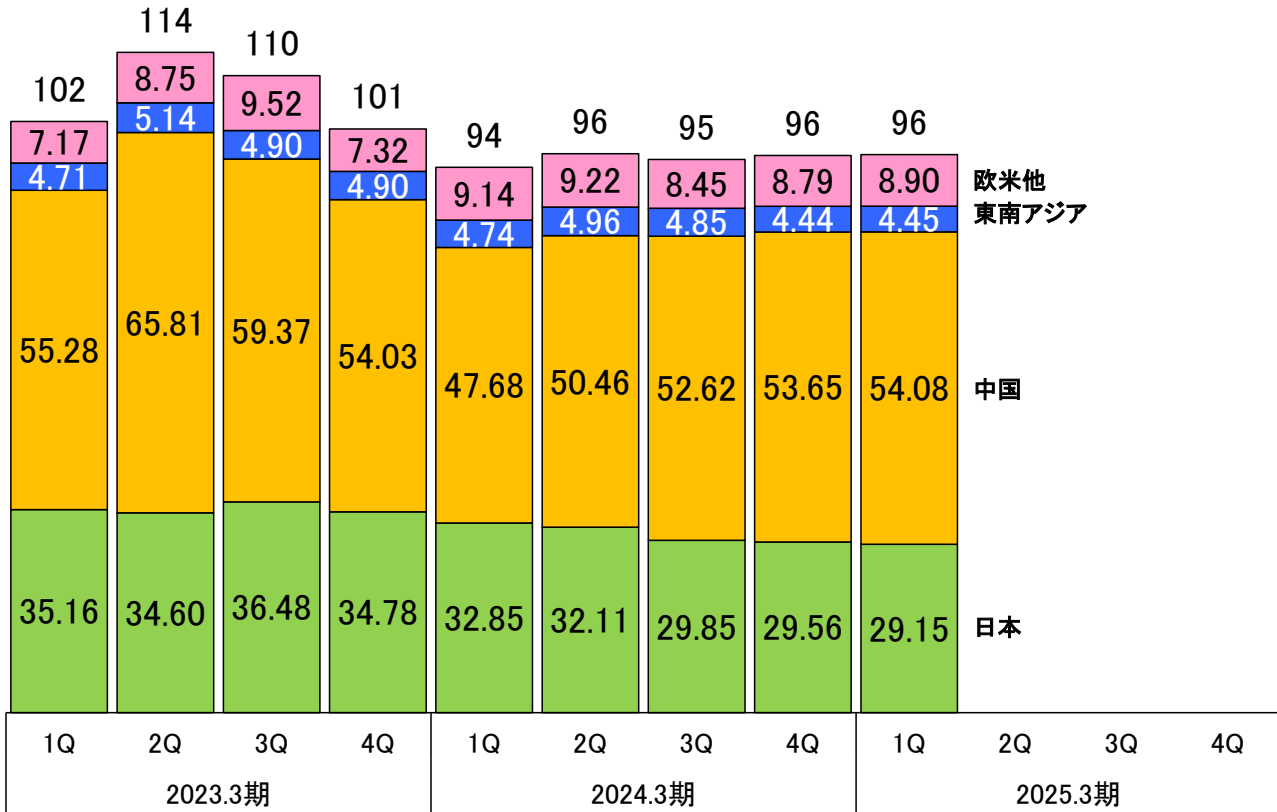
## 売上高と営業利益の推移

(単位:億円)



# 地域別売上高

(単位:億円)

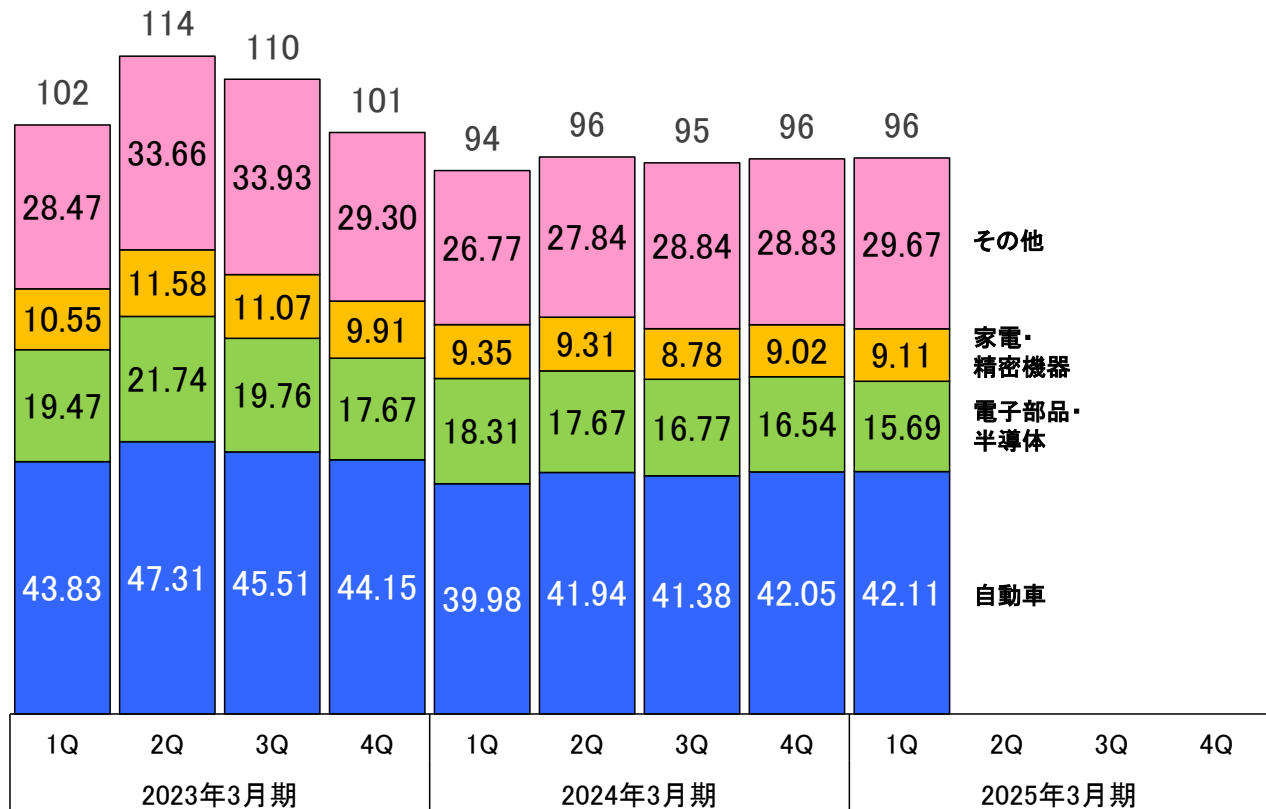


PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.

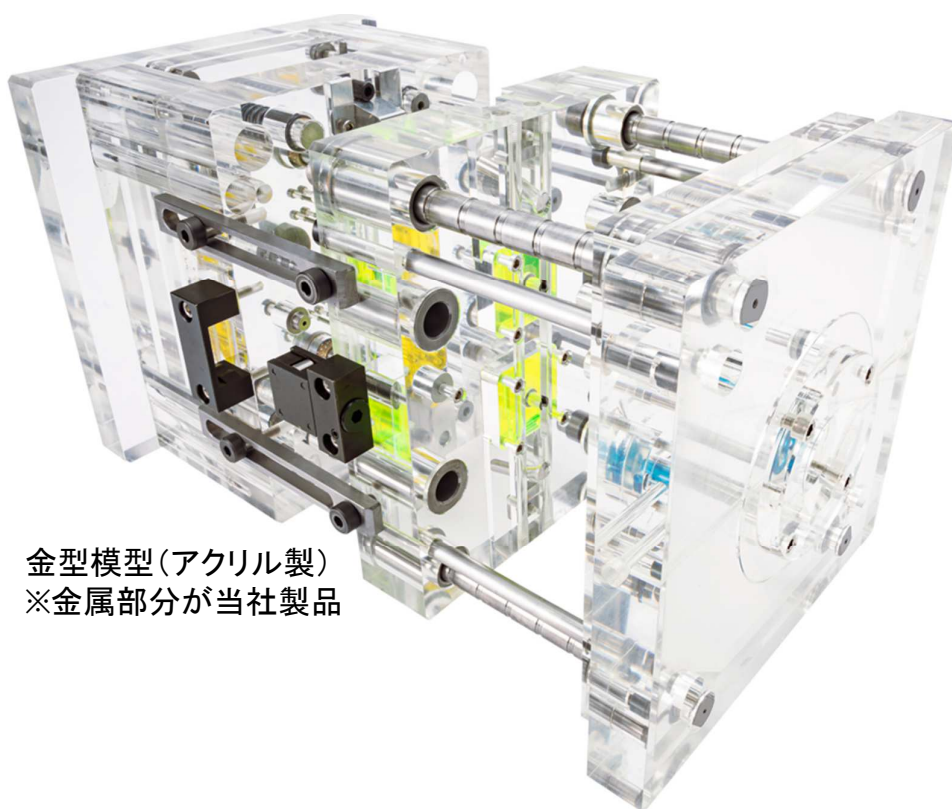
# 業種別売上高

(単位:億円)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

All Rights Reserved. Copyright ©2011-2012 PUNCH INDUSTRY CO.,LTD.



金型模型(アクリル製)  
※金属部分が当社製品

【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

**【将来見通し等に関する注意事項】**

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。